



「天童9条の会」のスタンディング（9月9日）

# 命と暮らし、人権を守る政治を 今こそ、市民と立憲野党の総力で政権交代を

9月3日、菅義偉首相は総裁選不出馬を表明し、就任わずか1年で退陣することになった。国民の命と暮らしを置き去りにした無責任なコロナ対策と強権政治に対する国民の怒りと運動に追い込まれた結果である。また、安倍晋三首相と二人三脚で「新自由主義政策」（アベノミクス）と「戦争する国づくり」を進めて来た9年間の自公政治の破綻でもある。

オリ・パラ報道に明け暮れたメディアは、今は総裁選一色。総裁選立候補者に「私のコロナ対策・新政策」を語らせ、菅政権の失敗を洗い流す役割を果たしている。今、政治の最大の課題は、感染爆発による医療崩壊で、連日亡くなる命を救うために「臨時国会」を開け、党派を超えて総力を挙げよ、という報道はほとんどない。

どの総裁選立候補者も本質的に安倍・菅政治の延長・後継にすぎない。今こそ、市民と立憲野党が総力を結集して政権交代を実現する時である。私たち同盟も全力で頑張りましょう。

## ◇県本部理事会

9月26日(日) 午後1時30分  
山形市西部公民館 (2頁参照)



「不屈」No. 567付録

山形県版 No. 385

治安維持法犠牲者

国家賠償要求同盟

山形県本部

〒994-0073

天童市寺津263

瀬野幸男方

TEL. FAX.

023-654-3255

私たちの運動の基本

ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

① 治安維持法体制の復活に反対する。

② 国は、戦前の治安維持法が、人道に反する悪法であつたことを認めること。

③ 国は、治安維持法犠牲者に、謝罪と賠償を行うこと。

9月26日、県本部理事会の第一部として開催される「国賠同盟山形県本部の総選挙勝利決起集会」に各立憲野党

### 国賠同盟山形県本部の総選挙勝利決起集会への参加のお願い

治安維持法犠牲者への謝罪と賠償を求め、再び人権弾圧と戦争の時代を繰り返させないために活動している治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟（国賠同盟）の運動に、ご理解とご協力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

安倍・菅自公政権が憲法違反の安保法制等を制定し、改憲をめざしていることに対し、立憲野党が憲法を守り立憲主義に基づく政治の実現をめざし、市民との共同をすすめていることを、私たちは心より歓迎しております。市民と野党の共同により、立憲野党の多くの国会議員のみならず、治安維持法犠牲者国家賠償法制定を求める請願の紹介議員になっていただけるようになりました。そして私たちは、市民と野党の共同のさらなる発展と野党連合政権樹立によつ

（日本共産党、立憲民主党、国民民主党、新社会党）の県代表に次の案内状を送りました。

て、私たちが求める法律制定と平和な日本の実現を展望しています。

したがって、まもなく行われる総選挙は私たちにとってきわめて大事な選挙だと考えています。この選挙で立憲野党の議席が増え、政権交代に接近できるようにと「総選挙勝利決起集会」を開催することといたしました。

選挙を目前に大変お忙しいことと思いますが、来賓としてご参加くださいましてご挨拶をいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、どうしてもご参加が叶わない場合は、メッセージをお寄せください。

2021年8月30日

治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟山形県本部  
会長 高橋嘉一郎

### 各支部の総会

#### 西置賜支部

60代の新会員を迎える支部総会



新型コロナウイルスデルタ株が猛威を振るう中、多くの国民の開催反対や懸念の声を無視して五輪に続きパラリンピックが開催中です。県本部大会に代わる県理事会が6月21日に終了し、7月末の県常任理事会

が、「8月10日会員拡大集中月間」を提起したことを受け、支部総会を8月28日に開催しました。

参加者は、高齢や病気のために参加者が多く、6名に止まりました。記念講演を、「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯」の題で、瀬野県事務局長にお願いたしました。多くの資料から千代子の生涯をたどることで、治安維持法が如何に人権を無視した希代の悪法であったかが理解でき、運動の必要性について学習を深

めることができました。

20年度も、個人に依拠する署名活動が改善されず、署名集約のための役員の構えの不十分さが指摘されました。会員については、逝去、病氣による退会で2名減となりましたが、総会前日に1名の新会員を迎えたこととは、新年度の運動の進展を励ますことになりました。個人署名の目標達成のため、「少人数学級を求める署名」運動で繋がった教職員や市町職員の組合など、各種団体にはたらかかせることの重要性を改めて確認しました。役員は、支部長に青木慶一、事務局長に海老名傑を再任しました。役員の奮闘を再確認し、総会を終了しました。

（西置賜支部長 青木慶一）

### 全会員による署名活動と

#### 映画運動の成功に重点

8月26日、北村山生協「こびあ」で、第7回総会を開催、会員7人が参加しました。19年度総会では、佐藤光康西川町議から「那須てっさんのこと」をテーマに講話を聞くなど、

会員以外にも呼びかけをして講演会を行ってきましたが、今年はコロナの下、会員だけで滋賀県本部で開催された藤田廣登氏の講演『伊藤千代子を語る』（90分）DVDを60分視聴しました。残りは、9月「支部例会」で視聴することにしました。

今年度の主な方針は、①署名は全会員で取り組む。②「わが青春つきるとも」映画製作支援金目標達成と、来春の上映活動。その他、③映画「レッド・ページ」製作募金（会計から納入）。④北村山支部として安保法の廃止と立憲主義の回復を求める「市民連合やまがた」の賛同団体に加入する。⑤「三鷹事件」の再審を求める団体署名（国民救援会三多摩総支部、県及び北村山平和センター依頼）に取り組むことにしました。

また、映画「わが青春つきるとも」上映の際、映画「母・多喜二」の時のように県及び北村山でも試写会実施の希望ができました。役員は、支部長に大場總、事務局長に菅野真治が再任されました。

（北村山支部 菅野 真治）

### 【8・15終戦76周年宣伝行動】

#### 宣伝カーによる流し宣伝

米沢支部長 鈴木 淳子

コロナ感染が拡大し四度目の緊急事態宣言を出しているのにも関わらず、オリンピックが開かれました。読売新聞の調査でさえ五割の人がオリンピックの中止を望んでいるのに、開催へと突き進んでいく菅政権。そしてテレビやラジオのメディアもオリンピックの映像ばかり。ふだん、スポーツ中継は応援しながら楽しめるのですが、コロナ禍に目を背けるように、定時のニュースまでなくしたり短縮したりして放送し、メダルの数を叫ぶメディアの姿勢には、なんだか時代離れた気持ち悪さを感じました。

そういう状況の中で迎える八月十五日。五日に支部総会を開き、今年の行動について話し合ったとき、会員の中に浮かんたのは、コロナ禍以前の時でさえ人通りのない米沢の町では、チラシをまいてもほとんど渡せない状態でした。どこも人が歩い

ていない。宣伝カーでも出したらという事で話を終えました。支部総会の翌日八月六日、広島

「こんには、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟です。8月15日は、当時の政府がポツダム宣言を受託して連合国に無条件降伏した日です。また、今年には日本国民310万人、アジア太平洋各国2000万人以上の犠牲者を出した「15年戦争」から76年です。憲法9条は一度と戦争をしないと誓いました。

しかし、自民党政府は秘密保護法、安保法制、共謀罪法、土地規制法と「戦争する国づくり」の道を突き進んでいます。菅首相は「改憲の機運が確実に高まっている」と9条改悪を狙って、改正国民投票法をこり押ししました。市民と野党の共同で政権交代を実現させ、憲法を生かした政治をすすめます。

十五日午前中市内を流しました。宣伝カーでの流しに耳を止めて「終戦の日」であることを思い起こしてくれる人がどれくらいいたかと思いますが、今年度の米沢支部の活動のスタートになったと思います。

支部	行動参加者(人)	チラシ配布(枚)	署名数(筆)	新聞折込(枚)
山形	4	50	12	400
鶴岡田川	5	500		1000
酒田				100
天童	5	100		650
米沢	3			350
上山				800
西村山				1,181
北西村山				300
東置賜				440
西置賜				
合計	17	650	12	5,221

### 柳広司(やなぎこうじ)著 『アンブレイカブル』を読んで

新聞でこの本が紹介されていたので読んでみました。治安維持法犠牲者を取り上げた小説でした。「アン

米沢支部 白根沢澄子



ブレイカブル」とは、英語で「壊れない」「破れない」という意味で、著者は「敗れざる者」という思いを込めてこの題名にしています。思想等の自由侵害に抵抗した人を価値ある人と評価しているのです。

治安維持法で弾圧された方々を4編の連作短編に描き、「雲雀」では「多くの読者に愛されるプロレタリア小説を書いた小林多喜二」を、「叛徒」では「現実を十七文字で打ち抜く川柳を自ら体現した鶴彬」を、「虐殺」では「良心的な雑誌の紙面作りに尽力していた中央公論や改造社の若き編集者たち」(横浜事件)を、「矜持」では「取調中の過度な暴力や劣悪な環境が原因で体を壊し、獄中や付属病院で死んでいった大勢の者たち」(その一人である哲学者・三木清)を取り上げています。

必要以上に過度な取り調べや変節を迫る同調圧力に屈せず、信念を貫いた治安維持法違反に問われた人た

ちを、著者はどう表現しているでしょうか。作中で多喜二に蟹工船の労働について情報を提供する谷勝巳は、多喜二についてこう語ります。「谷の脳裏に、早春の空のきわめて高い場所ので囀る雲雀の姿が浮かんだ。鷹も鳥もハヤブサも、かれは少しも恐れる様子もなく、空の一角で囀ることとで春の訪れを告げる。雲雀の声を耳にして、地上の者たちは春が来たことをはじめて知るのだ」。

このような表現は、著者の治安維持法で逮捕された人々への評価からきています。「アンブレイカブル」についてのインタビューで、著者は「逮捕され、拷問をうけて悲惨な死を遂げた。それは事実ですが、彼らの人生はそれだけではなかった。獄中に送られるその前まで、あるいは獄中でなお、彼らは国家が恐れるほどにキラキラと輝きを放つ存在だったんです。彼らは確かに生きていた。そして大日本帝国が減んでも多喜二や鶴、三木の業績や生きた証は減んでいない」と話しています。

『アンブレイカブル』は今年一月

出版されています。先のインタビューで「海外では今まさに同じ事態が進行している国がある。日本も共謀罪法が厳格に運用されれば、再びこうした社会が訪れるかもしれない」と語っていることから、著者は負の歴史が繰り返されることへの懸念を持っていることがわかります。

国賠同盟の方々に一読をおすすめします。

### 『アンブレイカブル』¥1,800 (2021年1月角川書店刊)

※小見出しは村山士郎氏による

#### 三組合を作ろう

昭和二十年の秋、私たちの小屋に西村力也先生や柳野先生が訪ねてくれ、山形県教員組合の結成が準備された。柳野先生は山形から規約草案をもって来ては、村山と打合せて山形市の組合を結成した。国分さんもこの秋に幾年ぶりで訪ねてくれた。村でしぼる牛乳のみながら私たちの話はずきなかつた。

お互いに案じ合いながらも、若い青年だった国分さんが、「ごめしてけらっしゃい」といって煙草をのまれたが、私はこの国分さんの中に永いながい逢いたい人にも逢えなかつた苦しい時間を見出して涙ぐんだ。夕方かみなりがなり、新しい仕事のことを語り合って帰られた。

この冬、私たちはおかゆをすすりながら春を待った。子供たちには村の人からももらった繭のさなぎをドロップのようにしてやり、宏と私が秋、一生懸命で捕えたイナゴを、菓のようにして食べながら、日曜日は朝五時におきて天童まで一里半も歩き、死にもぐるいの汽車にのって尾花沢に住む姉の家まで米を買いに出た。ときには帰りの汽車にのれず、夜は乳をしぼりながら小さい士郎を案じて眠られぬ夜もあった。都合よく終列車で帰ると、田んぼを越えて乳をほしがると、田んぼを越えて来てたりした。五年生の宏は、小さなリュックに、五升か三升しよ、利も七升、一斗と欲を出してしよった。

私は村の学校につとめ、村山は小

さな士郎を牛乳で育ててくれた。自分の病気を案じ、子供たちは伝染するのを心配しながら、村山は慎重に子供たちの世話をしてくれた。

春になると餓死する人が何万と出るであろうと、新聞は報道し、それが又村にも流れてくる。私は非常な怒りを感じた。戦争でこんなに苦しめ、戦争が終わったというのに、まだ餓死させる気であろうかと。私は自分の着物を売り、母が残してくれた木綿ものを売りながら、米を買い、豆を買い、炭を買った。

病気の村山には村でしぼる牛乳をやり、教え子たちが卵をズツとどけてくれた。この一粒の卵をも子供たちにはやれなかった。子供たちも父の病気を心配して、一度もその卵を食うとはいわなかった。

村を流れる乱川から、カジカをとって、ナマズをとって、父に食べさせる宏であった。私は子供たちの口の淋しさを、豆いりをしてやったり、芋を塩ゆでにしたりしてやったり。子供たちはそれをよろこんだ。

こうした生活の中で、私は自分た

ちの生活は自分たちでどうにかならぬものだろうか、いままでのように上からでなく、自分たちの手で生活も、教育の問題も話し合って解決しようと考えてようになった。

私たちの郡にも組合をつくらうと、村山に相談すると、小さなパンフレットと新聞の切り抜きをかしてくれた。パンフは入江道夫さんが戦後はじめに書いた労働組合のしおりであった。私は暗い電燈の下でパンフを読みながら、働く人々の団結権と団体交渉権、スト権を知ったのだ。そして日本の政府が法律でこれを保護し育成しなければならぬことも知ったのだ。そしてほのぼのと夜明けを感じ、自分たちの苦しみを打ち破る突破口がここに示されているようなよろこびに目を輝かした。

学校で友だちに組合のはなしをほのめかした。男の同僚は「村山さん、まず作って見たらいいべ」と冷笑し、女の友だちはいいことではあると思

いながら、疑いの態度を示した。私は楯岡で同僚だった太田先生に手紙を出し、なんとか郡の組合結成

くのだった。

#### 四 女子教師代表として

##### 県知事に訴える

山形には県の連合体の結成が準備され、その会議で知事に教員の苦しい生活を訴えようと決議された。その女教師代表として、齊藤キミエさん(現県婦人部長)と私がえらばれた。電報で呼び出されて、山形新聞の婦人記者に案内されて知事室で会談した。

私たちは、カユをすすっている苦しい生活の中で、教育を守っている。経済的ななみじめさは村の人からも軽べツされ、軽べツされる教師の教育は力弱いものである。私たちの未来の希望は新しく育てる子供たちであり、日本の生きる道はここだけだと訴えた。又教員の子供たちは、つぶ(タニシ)をとり、イナゴを取り、そして、生活を助けている現実を訴えた。

どっしりとした体を茶の背広につつんだ村山知事は、じっと目を私たちにそそぎ熱心にきくのだった。

の準備をしてはと南村山郡(西村先生の郡)や山形市の情勢をしらせて、相談を持ちかけてみたが、「私には大任だし、こうした方面は、自信がないので」とのことであった。

それでも私はおひるのお茶のみの時や、小使室のろばた会議で、労働組合のことを話に出した。家にくるパンフや新聞を見せたいのだけれども、まだまだ日本の敗戦をくやしがつて軍国主義を信じている先生方には、見せることがかえって反感をかうので、幼稚な私の組合意識で語るほうがずつと効果的であると、私は考えていた。

二十一年の春、南村山郡、山形市に組合が結成され、教師の自主的なうごきが生まれ、その呼びかけが私の北村山郡にも流れて来た。私にもその案内がとどき、職員会議で問題になった。私が説明役になって、民主的な労働組合は、私たちの生活を守り、労働条件を民主的にするものであること、また団結権、スト権、団体交渉権などのことも説明して、教育の問題も私たちの側から解決し

てゆく道があることを、私は話したのだった。

「村山さん、組合って共産党でないのか」と私につめよる先生もあつた。私は心をしずめてから「共産党は政治的な団体であり、労働組合は政治的にはどんな立場にあつても、生活権を守り、働く条件を民主化するものです。」と説明すると、校長は皮肉って「村山さん、女子代議士でもなつたら」といった。少しでも民主的な勉強をして発言するとすぐ皮肉つたり、危険視する私たちの職場であつた。しかし私はもう昔の私ではなくなっていた。新しく生きようとするはげしいまでの私の希望は、こんな事ぐらいで決してひるまなかつた。

私が代表にえらばれ、朝五時におきて天童に出て、楯岡小学校の音楽室の二階の部屋で結成準備会が開かれ、北村山郡教員組合が結成されること決議された。私はその準備委員にえらばれ、それから乳のみ子の士郎を村山にあずけて、私ははげしい組合活動の中で自分を育てて行

「県としても考えてはいる。しかし現在はあなた方も知っているような日本状態です。知事は教師の経済的な問題をすると逃げ、具体的なことは何ひとつふれなかった。あれほど教員たちを戦争に協力させながら、一言もその責任にはふれず、ただじつと大きな目で私たちを見つめて、熱心にきくようなゼスチャーを示しただけのことだった。みずからは何もする気のない知事、なんら戦争の責任を感じない知事、この知事は支配者としてふてぶてと私たちを見ている。私はだんだんとくしみを感じたのだった。

県庁を出ると、荒れはてた山形の街にも灯がともり、興ふんした私たちをホッとさせた。婦人記者さんのお宅で米軍放出の菓子をごちそうになり、教員の民主化と、教育の経済的な苦しみを語り合った。人民の、人民による、人民のための政治とかかれていた「ライフ」を見せていた。感激して帰った。あの時の婦人記者のことばを私は時折思い出す。「あなた方は、おとなしくて、お話

しなんか出来ない」と心配していたのに、どうして、どうしてハラハラす

るほどつつこんだわね」と。(つづく)

## 伊藤千代子の映画『わが青春つきるとも』 同盟会員は「製作協力券」を普及し、映画制作に貢献しよう

◆各地から参加者を募って、伊藤千代子を演じる女優井上百合子さんと一緒に、長野の上諏訪市、松本市でのロケ地ツアーやエキストラ募集もはじまり克蘭クイン(10月10日)が目前に迫りました。

8月30日現在、長野県38口、北海道37口、東京20口をはじめ全国各地から312口(3,120万円)の製作資金が集まっています。各県・各地区で実行委員会をつくり、国賠同盟が大きな役割を果たしています。「映



主演の井上百合子さん

画製作を支援する会」は克蘭クインまであと150口(1,500万円)の募金を呼びかけています。

▼山形県では、金額を問わない「協賛募金」と上映の際鑑賞券になる「製作協力券」(1,000円)を普及して、村山、置賜、北村山・最北、鶴岡、酒田の各地区で上映を計画しています(上映は来年の夏以降)。そのために、各地区に「映画『伊藤千代子の生涯』製作・上映実行委員会」をつくり《置賜、北村山は発足》、学習会、「協賛募金」「製作協力券」の普及を進めています。「製作協力券」は10月10日の克蘭クインまで500枚普及を目標にしています(同盟各支部は50枚目標)。

◇8月30日現在、山形、天童、西置賜の7人の方から協賛募金合計25万円5千円の募金が寄せられ、その

内22万円は中央の「映画製作を支援する会」に納入しました。今後、「呼びかけ人」(団体)にも協力を要請します。

◇「呼びかけ人」の助川暢さん(元基督教独立学園校長)が「製作協力券」の普及に奮闘しております。事務局は助川さんの要請で15枚届けました。

### 全国女性交流会中止

10月24、25日に予定されていた全国女性交流会は、緊急事態宣言21都道府県、蔓延防止等重点措置12県、合計33都道府県9月12日迄を考慮して中止となりました。

【鶴岡田川】 衆議院山形3区予定候補(日本共産党)の梅木たけしさんが同盟に入会しました。

【山形】 山辺の日野俊一さんが高齢のため退会しましたが、ご子息の日野一春さん(日本国民救済会山形県本部事務局長)が入会しました。